

SBテクノロジー、2030年度カーボンニュートラル宣言

～気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に賛同し、環境への取り組みを実施～

SBテクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：阿多 親市、以下 SBT）は、脱炭素社会の実現に貢献するため、事業活動に伴う温室効果ガス排出量^{※1}の削減に取り組み、2030年度までに実質ゼロにする目標を新たに設定したことをお知らせします。

これに伴い SBT は、2022年7月に気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下 TCFD）の提言への賛同を表明しました。



SBT は、持続可能な社会の実現に向けて、クラウド推進や AI・IoT 化による電力効率の向上など、IT を活用した気候変動対策への取り組みを実施しています。このたび、事業活動に伴う温室効果ガス排出量^{※1}の削減に対して、2030年度までに実質ゼロを目標として設定しました。

SBT の事業活動に伴う温室効果ガスの年間排出量は、CO₂ 換算で約 388 トン（2021 年度実績）^{※2}で、その大半は電力使用に伴う排出です。そのため、カーボンニュートラルの達成に向けては、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを中心に進めていきます。本活動を通じて脱炭素化を推し進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

また、TCFD の提言に賛同を表明し、気候変動が事業活動に与える影響について正しく把握し、適切に開示するという TCFD の提言に沿って検討を実施し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について方針と現在の取り組み状況を開示しました。

<https://www.softbanktech.co.jp/corp/sustainability/esg/environment/>

SBT はカーボンニュートラル実現に向け、温室効果ガス排出量の削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。そして、社会へ新たな価値を提供し続けることで、持続的成長を実現してまいります。

サステナビリティ・ESG の取り組みは、以下をご参照ください。

<https://www.softbanktech.co.jp/corp/sustainability/>

※1 事業活動に伴う温室効果ガス排出（Scope1 および Scope2）が対象

※2 Scope1（自らによる温室効果ガスの直接排出、および Scope2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）の合計値

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、SBテクノロジーまたは各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

報道関係者様向け
お問い合わせ窓口

SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 経営企画部 コーポレートコミュニケーショングループ
Email : sbt-pr@tech.softbank.co.jp